

令和4年度北海道釧路湖陵高等学校 全日課程 学校評価(自己評価)集計

今年度の目標	評価項目	4	3	2	1	無回答	回数	平均	平均(R3)	▲要改善 △不十分	◎十分	【中央値】 上位-下位		
【学習指導】 ○学習評価について研修を深め、改善を図る。 ○学習評価の育成について研修を深め、主体的な学習を促す。 ○研修を深め、授業改善を図る。 ○総合的な探究の時間の取組を推進する。	1 観点別学習評価への移行	8	36	6	0	0	50	3.04	2.74		△	○○○ ○○○◎	38	
	2 生徒の学習状況調査の定期的な実施と、主体的な学習の状況把握	7	34	9	0	0	50	2.96	2.98		△	○○○ ○○○◎	32	
	3 教科内の指導方針一致と、授業内容の共有	10	31	9	0	0	50	3.02	2.96		△	○○○ ○○○◎	32	
	4 授業評価を活用した授業改善	9	35	6	0	0	50	3.06	2.91		△	○○○ ○○○◎	38	
	5 探究活動を指導するための体制整備	4	30	16	0	0	50	2.76	2.57		△△△	○ ○○○○○	18	
	【理数教育】 ○SSH事業Ⅱ期計画を円滑に行う。 ○外部との連携を円滑に行う。 ○SSH事業Ⅲ期採択に向けた準備を進める。	6 探究活動を進める流れの確認・見直しを行う。	6	29	15	0	0	50	2.82	2.72		△△△	○ ○○○○○	20
		7 協力機関と連携する体制を構築し直す。	8	39	2	0	1	49	3.12	2.89			○○○ ○○○◎	45
		8 自治体と連携した提言活動を拡充する。	6	35	8	0	1	49	2.96	2.81		△	○○○ ○○○◎	33
		9 求められる資質・能力を育成する探究プログラムを検討する。	6	36	6	1	1	49	2.96			△	○○○ ○○○◎	35
○いじめを防止し、望ましい人間関係を形成する力を伸ばす。 ○社会的資質や行動力を高められるよう指導、援助する。 ○多くの教員による取組で、生徒理解を図る。 ○情報端末を適切に活用できるよう指導する。	10 学校行事等を通じた協働する力の向上	22	26	2	0	0	50	3.40	3.30			○○○ ○○○◎◎◎	46	
	11 生徒会活動等への生徒の関与を高める取組	19	30	1	0	0	50	3.36	3.21			○○○ ○○○◎◎◎	48	
	12 「学校いじめ防止基本方針」の生徒・保護者への周知と、いじめに対する組織的な対応の徹底	19	31	0	0	0	50	3.38	3.09			○○○ ○○○◎◎◎	50	
	13 学校生活の変化を観察し、生徒の状態を把握する。	21	28	1	0	0	50	3.40	3.11			○○○ ○○○◎◎◎	48	
	14 情報端末の活用について、方針に沿った指導を行う。	6	32	12	0	0	50	2.88			△△	○ ○○○○○	26	
○指導方針を提示するとともに改善を図る。 ○学習状況を測定・分析し、課題の改善に生かす。 ○説明会等の実施形態について工夫する。 ○教職員による情報収集を図る。	15 キャリア学習を新たに教育課程に位置づける。	5	32	12	1	0	50	2.82	2.79		△△	○ ○○○○○	24	
	16 学年・教科間の情報共有を活発化させる。	6	33	11	0	0	50	2.90	2.87		△△	○ ○○○○○	28	
	17 学習状況調査と模擬試験等の分析を実施する。	11	35	3	1	0	50	3.12	3.13			○○○ ○○○◎◎◎	42	
	18 ICT機器等を活用する。	8	35	7	0	0	50	3.02	3.00		△	○○○ ○○○◎	36	
	19 入試動向等の情報を収集、発信する。	26	23	1	0	0	50	3.50	3.34			○○○ ○○○◎◎◎◎	48	
○感染症対策に努めるとともに、生徒の健康管理意識を高める。 ○生徒が不適応を起こす前の予兆を把握し、情報共有に努める。 ○全体で見守る支援や、相談体制を継続する。 ○生徒の自己肯定感を高める取組を推進する。 ○防災や危機に対する意識の向上を図る。	20 機会あるごとに啓発を行う。	23	26	1	0	0	50	3.44	3.38			○○○ ○○○◎◎◎◎	48	
	21 サポート委員会や分掌、学年間の情報を共有する。	31	19	0	0	0	50	3.62	3.28			○○○ ○○○◎◎◎◎	50	
	22 支援が必要な生徒の支援計画を作成し共有する。	22	22	6	0	0	50	3.32	3.11		△	○○○ ○○○◎◎◎	38	
	23 スクールカウンセラーとの連携を通じた、個々の生徒へ適切な対応を行う。	31	19	0	0	0	50	3.62	3.45			○○○ ○○○◎◎◎◎	50	
	24 避難訓練や講話、環境美化の取組を充実させる。	11	34	5	0	0	50	3.12	3.09		△	○○○ ○○○◎◎	40	
○保護者・地域・中学校へ、教育の成果を積極的に情報提供する。 ○学校評価を活用した学校改善を定着させる。	25 生徒、保護者、地域への教育内容等の周知	10	35	5	0	0	50	3.10	2.94		△	○○○ ○○○◎◎◎	40	
	26 中学生とその保護者に対する情報提供の充実	15	31	3	1	0	50	3.20	3.11			○○○ ○○○◎◎◎	42	
	27 報道機関等を活用した学校の教育活動の周知	12	34	4	0	0	50	3.16	2.85			○○○ ○○○◎◎	42	
	28 学習評価、授業評価、教職員の自己評価、学校関係者評価等を活用した学校課題の明確化と改善方策の共通理解	6	36	8	0	0	50	2.96	2.89		△	○○○ ○○○◎	34	
○分掌が主導する体制を推進する。 ○分掌・学年の目標を具体的にし、評価の観点を明らかにする。 ○校内業務の事前調整を徹底する。 ○校務を効率化し、働きやすい勤務環境にする。	29 分掌による事前調整・企画と学年への説明	8	34	7	1	0	50	2.98	3.02		△	○○○ ○○○◎	34	
	30 方針、計画、評価、改善の一体化	6	32	12	0	0	50	2.88	2.81		△△	○ ○○○○○	26	
	31 計画の際の関係部署との調整の徹底	5	33	12	0	0	50	2.86	3.00		△△	○ ○○○○○	26	
	32 部長主任会議を活用した校務運営の効率化	10	35	4	0	1	49	3.12	2.87			○○○ ○○○◎◎◎	41	
	33 超過勤務時間や、部活動指導時間上限の遵守	1	23	25	1	0	50	2.48	2.40		△△△△△	○ ○○○	-2	
○校内研修を計画的に実施する。 ○教職員個々の目標管理を推進する。 ○服務規律を厳守する意識を維持する。	34 課題に即した研修テーマの決定	7	35	8	0	0	50	2.98	3.00		△	○○○ ○○○◎	34	
	35 ライフステージに応じた自己研修の奨励	5	33	11	1	0	50	2.84	2.72		△△	○ ○○○○○	26	
	36 個別面談を通じた、目標管理の充実	11	31	8	0	0	50	3.06	2.87		△	○○○ ○○○◎◎	34	
	37 日常の情報提供による意識の高揚	9	38	3	0	0	50	3.12	3.0			○○○ ○○○◎	44	